

# 黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ジェニファー E. ジョーンズ  
 第 2550 地区ガバナー：佐貴直通  
 事務所：〒321-0945 宇都宮市宿郷5-21-15  
 ペルヴィ宇都宮内  
 TEL: 028-651-2550  
 FAX: 028-651-2551  
 E-mail: [m2550@agate.plala.or.jp](mailto:m2550@agate.plala.or.jp)



会長：植竹一裕 幹事：大島三千三  
 事務局：(有)大島商店 大島三千三  
 代表取締役 大島三千三  
 〒329-3155 那須塩原市笹沼262  
 TEL: 0287-65-0863 FAX: 0287-65-3381  
 E-mail: [3003@mvp.biglobe.ne.jp](mailto:3003@mvp.biglobe.ne.jp)  
 例会：国民の祝日を含まない週の水曜日  
 12:30 - 13:30  
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2978回 植竹年度第14回例会会報 2022-11-16 司会 田中徹君

## 米山記念奨学会功労者 感謝状伝達



藤崎善隆君 戸野俊介君

他のスポーツであり得ない事件だと思えます。しかし、私はそこが野球の面白さのひとつだと思っております。

規定を満たしていない事とは、公認野球規則では、本塁からバックネットフェンスまで約18m以上の距離が必要なところ約15mしかなかった事が原因です。

面白いのは18m以上という規則です。18mでも20mでも問題はないという事ですから、いい加減な規則の様に思います。この野球規則は、アメリカの公認野球規則を翻訳したものです。その英語版の翻訳に齟齬が生じたのが原因と日本ハムは説明しています。

日本人の感覚で言えばきっちりとした数字を設定します。このいい加減さがアメリカというか野球の緩い特徴が見えます。考えてみますと日本の球場もそれぞれ特徴のある球場となっており、厳しい規則に則って建てられてはいません。現に今プロ野球が本拠地になっている球場にも一部基準をクリアしていない球場もあります。

この野球規則は1958年に制定されましたが、ルールとなっている両翼のサイズは99.06m以上で、センターは122m以上が条件に対して、横浜球場はその両翼94mセンター118mとなっています。ルール制定前に建てられた甲子園・神宮球場もその大きさには届いていませんが、改修工事にすら入っていません。大リーグでも大きさの基準に満たない球場が多く存在し、球場自体が野球の醍醐味を更に強調している様な気がします。代表的な球場では、ヤンキースタジアムが極端に左打者に有利な右翼が左翼に比べてフィールドが狭くなっています。同様にサンフランシスコジャイアンツのオラクルパークも極端に右翼が狭い球場です。右翼側の外には海が広がり、ホームランボールを獲得するためにボートを浮かべて待っている野球ファンの姿をテレビ

## 会長挨拶 植竹一裕会長



野球好きの私にとって面白いニュースが飛び込んできました。次シーズンに向けて、北海道日本ハムファイターズの本拠地が新しくエスコンフィールド北海道に移転するニュースの中で、プロ野球公認野球規則の規定を満たしていない事が発覚し、次シーズンから2年かけて改修する事を以って12球団代表者会議で承認されたそうです。

出席報告 黒澤洋一委員長 (出席規定の免除会員数8名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 11月16日	35(8)	31(5)	4(3)	90.3%	—	—
前回 11月9日	35(8)	28(5)	7(3)	87.5%	2	93.8%

で見る事があります。来るか来ないか分からないボールをボートの上で待つぐらいならスタンドで声援を送りたいと思います。しかしそんな野球だからこそ、数少ない人情味にあふれたスポーツだと思います。ファンの気持ち、その時代のニーズに合わせてルール自体の変更が加えられているのです。近々では投手も指名打者として打席に入る事が可能になりました。これは大谷効果ですね。来季からも新ルールが導入されます。その目的は基本的にファン目線を見た時にダラダラして長い試合時間を減らす事などファンを飽きさせない事を目標にしています。選手からは不満の声もあるようですが、投球間の時間を制限するピッチロックやベースを大きくして盗塁成功率を高めたりしています。ビデオ判定も球場内のオーロラビジョンにそのプレイをスーパースローで映し出し魅力のひとつになっています。

多くのスポーツがビデオ判定を取り入れてより正しい判断する事に努力していますが、世界で先駆けてビデオ判定を取り入れた競技は、大相撲です。1969年大鵬・戸田の一番で大鵬の46連勝がかかった一番を行事差し違えて戸田に軍配が上がった事がきっかけとされていますが、実は以前からテレビの普及で視聴者からの苦情が増加しその対応する手段としてビデオの導入が始まりました。ビデオ判定の先駆者が大相撲とは驚きます。今では殆どのスポーツでビデオ判定が導入されています。

他にバレーボールも昔は、サーブ権を持つチームにだけ得点権がありましたが、時間短縮の観点からラリーポイント制を導入しレシーブサイドでも得点できる様に変更されています。卓球も同様です。1セット21ポイントから11ポイントにサーブも5本毎から2本となり、なんとなく間延びした感じからスピーディな試合になっていると思います。

それぞれのスポーツの本質は変わらずともその運営方法は時代の流れとともに修正されています。時代の流れとともにルールを変更していく事の大切さを感じる次第です。

## 幹事報告 大島三千三幹事

1. 12月7日 例会終了後、理事役員会を開催いたします。
2. 11月9日 第7回理事役員会の議事録を皆さんにメール致しました。

2022-2023年度  
国際ロータリー第2550地区  
地区大会  
2022年 12月9日(金)～11日(日)



## 委員会報告 藤崎善隆副会長



## ○ 広報委員会 高木慶一委員長



11月1日にデジタルフォトコンテスト応募要領をメール配信いたしました。

11月9日から12月7日まで募集です、今応募者が2名です1枚だけでの応募でも宜しく願います。必ず応募して下さいと言ってしまったようですが義務ではありませんのでお詫びして訂正いたします。宜しくお願いします。

## ○ 会報委員会 秋間忍委員長

来る11月30日(水)の午後6時から、石山で会報委員会を開催いたします。会報委員以外の方のご参加も歓迎いたします。参加ご希望



の方は11月28日までに秋間までお申し込みください。お待ちしております。

## 😊 ニコニコボックス 檜山達郎委員



- 鈴木隆子君 誕生祝ありがとうございました。私は、のんびりが好きなのですが、歳の神様は足が早いようです。
- 鈴木久雄君 誕生祝ありがとうございました。
- 吉光寺政雄君 誕生祝ありがとうございました。

## 🌀 本日の卓話 クラブ協議会 植竹一裕会長

年度方針は、国際ロータリーの会長テーマである「イマジン ロータリー」とし、DEIを实践するキーワードとして強くロータリアンに理解を求めております。DEIとは、常に多様性に富み公平性を保ち、出来るだけ多くのクラブメンバーが活動に参加して地域社会への地道な奉仕を行う事で、それが重要であると説いています。当クラブではそれをベースに7項目の大きなテーマを掲げております。

1. 会員増強純増3名 特に那須町地域・女性会員の入会に努力する
2. 財団寄附 \$150+ポリオ\$30=\$180
3. 米山奨学会支援 ¥19,000/1名
4. My Rotary 登録推進・IT・DX化の推進
5. Rotary 広報活動の推進
6. 今できる奉仕活動の再検索

## 7. クラブ内の親睦を発展させる

この一年をリハビリの年として、黒磯クラブの足元を固めたいとお話させていただきました。手始めに黒磯クラブとして那須ロータリークラブが解散となった事で、黒磯クラブ活動地域は那須町まで拡大されている認識を持ってほしいとお願いを致しました。9月7日に平山幸宏那須町町長に卓話をお願い致しました。現在進行中ですが、(株)三和様よりご寄贈頂きました約10万枚のマスクの提供を那須町社会協議会と那須塩原市コロナ対策準備室を通じて寄贈先の検討進行中です。更にロータリー財団地区補助金についても那須町の活動支援に当てる方向で検討とじているところではあります。

クラブ内の親睦の発展という点でも、コロナ感染者数が落ち着いたタイミングで3年ぶりの夜間例会を2回開催させていただきました。その中で親睦委員会主催の観月会は例年とは異なり、新しい夜間例会を提案していただき新鮮な夜間例会になったと思っております。今後のクリスマス家族会や、新年会も開催を前提に準備を続け、今までとひと味違う夜間例会を楽しみにしております。当然の事ながら、我々を取り巻く感染状況によっては残念ながら中止をする場合もありますが、今は前を向いて進めてまいります。

コロナ感染対策として、ハイブリッド例会を実行し体調に不安がある方でも例会に参加出来るようにズームを活用致しました。結果お仕事が忙しくて例会場に足を運ぶ事が難しい時でも、ズームでの参加が可能となり出席率の向上につながっているのではないのでしょうか？

交換留学生のヘイデン ロバート ミッシェル君も少しずつ日本語がうまくなり、先日の挨拶も随分と流暢な日本語になってきたと思います。彼が黒磯高校に留学した事も理由のひとつと思いますが、外来卓話も地区委員のお話や、他の留学生のお話を聞く機会も増えたように感じます。黒磯クラブメンバーの卓話も大切ですが、外部の方のお話を聞く機会が増える事は新しい知識を取り入れる事になりますので、有意義なことだと思います。今後の卓話でも外来卓話機会を増やして頂けると有り難いと思っております。

これからが本題なのですが、皆さんに上手くお伝えできるかどうか分かりませんがお聞きください。

日進月歩の言葉通り、日々我々を取り巻く環境は変化しております。テクノロジーの発達スピードはとて追いつける速度ではありません。どんな組織でも考え方は変わらずとも、方法は常に変化していると思っております。例えとして弊社の場合ですと、昔は田植えも稲刈りも人の手で行われ、60kgの俵にお米を詰めて倉庫に積んでいました。それがベルトコ

ンベアを使って倉庫に積むようになり、今では60kgの俵が30kgの紙袋になり、人力からフォークリフトを使って倉庫に積み上がる様になりました。更に1トンの袋(フルコン)で運搬しています。集荷してお米を保管する作業は同じですが、方法が違います。

営業廻りも自転車からバイクそして軽バンに、注文書も手書きからパソコンに、受け取り方法も手渡しからFAXを経て今ではメールになりました。連絡方法も会社への電話連絡から携帯電話へ。新たにラインを使うお客様も増えてきています。同じ連絡手段でも随分様変わりしています。

お米などの売買も同様です。現金手渡しから銀行の窓口での振込へ、そしてATMとなり、今ではネットバンキングが増加しています。必須項目にあった署名・捺印も不要の方向に進んでおります。同じことをするにしても以前とは方法が進化しています。その時代に適合した運営方法にいつのまにかと取って代わられているのです。

同様に運営方法を考えていく必要が今の黒磯ロータリーにもあると私は思います。会員数は2000-01年度の69名をピークに現在35名まで減少している状態です。あくまで運営方法を検討するのであって本質を変える必要はありません。

具体的にどうすれば良いのか検討を始めては如何でしょうか？この事を単年度で大きく舵を切る事は難しいと思います。プロジェクトチームを結成し、複数年かけて検討すべきことだと思います。今何を変えたら良くなるか具体的に示すことができませんが、ひとつの例になると思われるのが、先程申し上げたハイブリッド例会を継続している事ではないでしょうか？以前であれば、例会場に来る時間がない場合は欠席せざるを得なかったことが、移動時間がない方でもズームであれば、少しでも例会に参加することが出来るからです。

ロータリーに興味のある方がいても、その事が入会のネックになる場合もあると思います。

当然のことですが、例会場に参加することが大前提でなければいけません。我々を取り巻く環境は時間との戦いになる場合が増加してきています。PC等の発達で業務速度の高速化が進んでいます。日中に定期的に時間を取られる事がネックとなっている場合もあるかと思えます。そこで昼の例会を減らして、夜間例会に変更する事も検討の一つに入れるべき部分かと思えます。お酒を出さない夜間例会を開催するという事です。

それを主眼にする訳ではありませんが、クラブに興味を持つ新しいメンバーが入会し易くする為の方法を検討する事が大切な事だと思います。慎重且つ大胆にクラブ例会開催方法

を検討する事が今我々にできる事ではないでしょうか？

本日はここで何かを決める場所ではありません。一年単位で運営している今の方法に問題があるとは思っておりません。今回皆さんにお話している今後の運営方法はしっかりと時間を掛けて検討すべき内容ですので、2年くらいの同一メンバーで検討する事が必要になると思いますし、決定したら暫くの間はその方法を継続しないとイケません。次世代へのバトンを綺麗な形で渡すためにも我々一人一人が真剣に考えていく必要があると思います。

このまま進むと、当クラブの会長・幹事は一度担当すれば良かった時代はもう終わります。二度目・三度目をお受けいただく事になりますし、年齢を理由に二度目・三度目を断ることは出来なくなります。どうか伝統あるクラブを継承していく次の世代を仲間に取り込む為のクラブ運営方法の改善をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

会長挨拶でスポーツ業界でさえ、ファン視線でスムーズに運営するためにルール改定をしています。伝統的な大相撲が世界で真っ先にビデオ判定を取り入れた事をお伝えしました。まさに黒磯クラブも伝統を大切にしながらも新しいルールを考える時が来ているのです。

この様な話がクラブ協議会に適しているのか疑問をお持ちになった方もいらっしゃるでしょうが、先日の理事会で承認をいただきお話をさせていただいております。皆さんからの貴重なご意見をお待ちしております。

会場案内

地区大会事務局  
ライトタワークラブ  
〒321-0945 宇都宮市宮下1-1-1  
TEL 028-632-2858

会長・幹事会 | 地区協議会 | 地区大会事務局 | 地区大会事務局

イマจินクラブ  
〒321-0945 宇都宮市南郷 5-21-15 TEL 028-433-1165  
<http://www.believe-uj.com>

記念ゴルフ大会  
宇都宮カンツリークラブ  
〒320-0051 宇都宮市上戸町 3100 TEL 028-624-7221  
<http://www.utsunomiya-cc.co.jp>

2022-2023年度  
国際ロータリー第2550地区 地区大会事務局  
ガバナー事務所内  
〒321-0945 宇都宮市南郷 5-21-15 イマจินクラブ内  
TEL 028-632-2858 FAX 028-632-2851 E-mail: [info@rotaract-believe.com](mailto:info@rotaract-believe.com)  
ホストクラブ：宇都宮南郷ロータリークラブ

2022-2023年度  
国際ロータリー第2550地区

# 地区大会

イマจิน  
ロータリー

2022年12月9日(金)～11日(日)

12月9日(金) 記念ゴルフ大会  
12月10日(土) 会長・幹事会/地区協議会育成セミナー  
RII会長代理伊藤夫妻歓迎晩餐会  
12月11日(日) 地区大会本会  
ホストクラブ：宇都宮南郷ロータリークラブ

地区大会パンフレット



出席報告 兵木大治委員



SAA担当 田中徹SAA

11月16日欠席者（敬称略）  
荒井昌一 泉道夫 瀬尾紀夫 鳥居輝一  
黒澤洋一 井出法 石山桂子

前回11月6日分メイクアップ（敬称略）  
鈴木久雄 藤崎善隆

**次回例会 令和4年11月30日 担当 会報委員会**

近隣クラブ例会日

○火曜日 西那須野/いとう屋 0287-36-0028  
○木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-23-4165

近隣クラブ例会日

○木曜日 大田原/ホテル花月 0287-54-1105  
○金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105

会報委員会：秋間忍・村山茂・和氣勝利・瀧田雅仁